

第 3 期
久留米市食料・農業・農村基本計画
【令和 5 年度実績報告・令和 6 年度実施計画】

「魅力ある農業都市・久留米の発展」



久留米市

1. 令和6年度久留米市予算の概要

久留米市の令和6年度の農林水産業予算は約39億円で、一般会計歳出予算約1464億円の約2.7%を確保しています。

【久留米市一般会計予算 歳出】

	令和6年度 予算額
歳出予算合計	1,464億円
農林水産業費(全体予算比)	39.3億円(2.7%)

【農林水産業費(目的別)】

区分		金額(千円)
農業費		3,736,631
	農業委員会費	140,199
	農業総務費	617,704
	農業振興費	923,887
	畜産業費	155,220
	農地費	1,286,955
	国土調査費	1,095
	農業開発費	611,571
林業費		193,454
	林業総務費	60,281
	林業振興費	133,173
水産業費		2,657
	水産業振興費	2,657
合 計		3,932,742

【特別会計】

事業名	金額(千円)
卸売市場事業	370,000
農業集落排水事業	312,000

2. 第3期計画の施策体系

(1) 基本的な考え方 「市民みんなで参加する久留米の食と農」

(2) 全体目標 「魅力ある農業都市・久留米の発展」

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業産出額（農政課）	億円	325 (H29)	292 (R1)	286 (R2)	290 (R3)	300 (R4)		329 (R6)
認定農業者数（農政課）	経営 体	868	841	847	836	835		900
認定農業者における法人の 割合（農政課）	%	11.6	13.2	14.2	14.0	14.4		18.6
農業都市久留米の認知度 （農業の魅力促進課）	%	61 (R1)	—	34.2	36.3	61.4		70
農業都市久留米の愛着度 （農業の魅力促進課）	%	52.1 (R1)	—	53.7	41.6	45.1		60

(3) 5つの基本施策

条例の「食料」「農業」「農村」の各分野の基本理念を踏まえ、各基本施策を推進します。

また、国・県や農業団体等と連携するとともに、農業分野以外の関係団体等との連携や市民との協働の視点を意識しながら各事業を実施します。

基本施策	主要施策
基本施策Ⅰ 担い手の育成・確保と労働力の確保	1. 基幹的な担い手の経営力強化
	2. 将来の担い手の確保と育成
	3. 多様な人材の活用
基本施策Ⅱ 生産性・収益性の高い農業経営の実現	1. 米麦大豆、野菜、果樹、緑花木、花き、畜産の振興
	2. 効率的な生産体制の確立
	3. 安全で安定的な農産物の提供
基本施策Ⅲ 持続可能な生産基盤の確立	1. 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進
	2. 農地の有効利用の促進
	3. 農業・農村の持つ多面的機能の発揮
基本施策Ⅳ 「農業都市・久留米」の理解促進	1. 「農業都市・久留米」の魅力発信によるブランド力向上
	2. 地産地消を通じた魅力発信
	3. 農業の公益的機能等の理解促進
基本施策Ⅴ 多様な農業への挑戦	1. 農業経営の多角化
	2. 農村地域の資源を活用した地域の活性化

3. 施策ごとの「令和5年度実績報告」及び「令和6年度実施計画」

【基本施策Ⅰ】 担い手の育成・確保と労働力の確保

基幹的担い手である認定農業者や将来を担う青年就農者の確保と育成を図るとともに、農業生産力の維持・拡大のため、外国人材の活用や農福連携など、県や農業団体等と連携して、新たな労働力の確保に向けた取組を推進します。

1. 基幹的な担い手の経営力強化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業収入 2 千万円以上の認定農業者の割合（農政課）	%	43	47	49	51	52		57
認定農業者における女性の割合（農政課）	%	6.5	6.5	6.4	6.4	6.4		10.0

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

① 認定農業者等の経営力強化

認定農業者の認定 新規認定者や再認定者の農業経営改善計画の作成支援を行った。 ・ R5 年度末 835 経営体（前年-1） 新規認定 23 件、再認定 115 件	認定農業者の認定 農業経営改善計画の作成支援や再認定の際にフォローアップを行うとともに、電子申請の活用など、申請の効率化を図る。	農政課
農業経営支援研修会 認定農業者や集落営農組織、関係機関を対象に研修会を開催した。 多様な人材で農業経営の発展を ・ 開催日：R6.2.2、参加者 28 人 ・ 基調講演 演題：「農福連携は地域づくり」 講師：高知さずなファーム 代表理事 北村浩彦氏 演題：「外国人雇用のポイント」 講師：福岡県行政書士会 吉開絵理氏 （事業主体：市担い手育成総合支援協議会）	農業経営支援研修会 認定農業者等の経営力（経営改善・知識の習得）向上を図るため、農政情報の発信や農業経営の参考となる研修会等を開催する。 （事業主体：市担い手育成総合支援協議会）	農政課
認定農業者協議会活動支援 新型コロナウイルス感染症による影響が小さくなり、事業活動は従前の規模に戻っていく中で、地元農畜産物の PR 活動などの組織活動に対して支援を行った。	認定農業者協議会活動支援 認定農業者の組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行う。	農政課

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

② 土地利用型農業の経営基盤強化

集落営農法人化支援事業 集落営農組織が法人化する場合に係る登記や経理研修費用など法人設立時の初期費用を支援した。 ・補助実績：3年目 1組織、500千円	集落営農法人化支援事業 集落営農組織が法人化する場合に係る登記や経理研修費用など法人設立時の初期費用を支援する。 ・補助額：1年目 1,000千円/組織 2・3年目 500千円/組織	農政課
法人経営力強化支援事業 事業実績なし	法人経営力強化支援事業 法人経営における課題解決のため、税理士や社会保険労務士等による経営研修会等を開催する。	農政課

③ 女性農業者の人材育成

女性農業者の経営参画支援 ●女性農林漁業者のための起業家育成塾 女性農林漁業者が自ら経営発展に取り組むため、商品開発や販路開拓に関する研修会、起業計画書の作成等を行う講座を実施した。 ・開催回数：全3回 ・参加者数：0名（久留米市） （事業主体：福岡県） ●女性農業者向け研修会・交流会 女性農業者の経営参画に向けた意識向上を図るため、認定農業者制度等に関する研修会や、女性農村アドバイザー・OBによる交流会を実施した。 ・開催回数：全2回（県事業） ・参加者数：延べ11名（久留米市） （事業主体：県普及指導センター）	女性農業者の経営参画支援 県の事業を活用し、女性農業者の経営発展や経営参画に向けた取組に対して支援を行う。	農政課
就農女性のネットワーク構築支援 若手女性農業者グループ主催による講座開催等の自主活動を支援した。 ・インボイス制度について 開催日：5/23 参加者：5人 ・女性農業者経営支援研修会 開催日：9/7 参加者：10人 ・経理、雇用について 開催日：11/22 参加者：8人 （事業主体：久留米市農業振興協議会）	就農女性のネットワーク構築支援 女性農業者の経営力向上やネットワーク構築を図るため、県普及指導センターやJAと連携し、若手女性農業者等を対象とした研修会・交流会を開催する。	農政課
女性農業者の活動支援 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動支援を行う。 ・上記活動の支援。	女性農業者の活動支援 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動支援を行う。	農政課

R 5 年度 実績報告		R 6 年度 実施計画	担当課
④女性農業者が活躍できる環境整備			
女性認定農業者の推進 女性認定農業者の増加促進を図るため、認定農業者の申請（更新）時に共同申請を促すとともに家族経営協定制度のチラシを配付するなど、周知・啓発に努めた。 ・ R5年度共同申請認定数 新規 1件（うち女性含む0件） 更新12件（うち女性含む4件） ・ R5年度家族協定締結数 6件（うち女性含む2件）		女性認定農業者の推進 女性の農業経営への参画を促す手段として、認定農業者の共同申請や家族経営協定の締結に向け、認定農業者・新規就農者の相談会や研修会等で周知・啓発を図る。	農政課
男女共同参画に向けた意識啓発 各種協議会や農業表彰の推薦の依頼時、研修案内時等に各農業団体に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行った。		男女共同参画に向けた意識啓発 各種協議会や農業団体等に対し、男女共同参画に向けた啓発を行う。	農政課
女性農業者の実態調査 R3 年度に実施した、女性農業者実態調査の結果を踏まえて、女性農業者の活躍促進に向けた取組を図った。		女性農業者の実態調査 R3 年度に実施した、女性農業者実態調査の結果を踏まえて、女性農業者の活躍促進に向けた取組を図る。	農政課

2. 将来の担い手の確保と育成

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
経営開始 5 年目の農業収入 1 千万円以上の割合（農政課）	%	55.2	48.1	48.3	51.5	49.3		60

R 5 年度 実績報告		R 6 年度 実施計画	担当課
①新規就農者の育成			
新規就農者育成総合対策（経営発展支援事業・経営開始資金）・農業次世代人材投資事業（経営開始型） 新規就農希望者の個々の状況に応じて就農へ向けたアドバイスや就農計画の作成支援、就農後の指導等を行った。 ●経営発展支援事業 ・補助実績：7 名 30,480 千円 ●経営開始資金 ・補助実績：21 名 24,750 千円 ●農業次世代人材投資事業 ・補助実績：24名（継続交付分のみ）23,232千円		新規就農者育成総合対策 ●経営開始資金 国の事業を活用し、普及指導センターやJA、農業委員会等と連携を図りながら、新規就農者の就農直後3年間の経営確立を支援する。 ・補助額：最大 1,500 千円/年（国 10/10） ●経営発展支援事業 国の事業を活用し、新規就農者が初期投資として行う機械・施設等の導入を支援する。 ・補助対象事業費：最大 1,000 万円 ・補助率：国 1/2、県 1/4、本人 1/4	農政課

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
経営確立に向けた研修 新規就農者が早期に安定した農業経営を確立するための営農基礎講座及び新規就農者のネットワーク構築のための新規就農者のつどいを実施した。 ●営農基礎講座 ・第1回 開催日：R5.7.6 参加者5名 内容：レタス類・ブロッコリー・ホウレンソウの作型の考え方、生態 ・第2回 開催日：R5.7.20 参加者2名 内容：農薬の適正使用について、土づくりについて ・第3回 開催日：R5.7.27 参加者3名 内容：レタス類・ブロッコリー・ホウレンソウの主要病害虫とその対策 ・第4回 開催日：R5.8.23 参加者3名 内容：農家経済の仕組み、農業共済制度について ●新規就農者のつどい 開催日：R6.3.19 参加者10名 (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)	経営確立に向けた研修 新規就農者が早期に安定した農業経営を確立するための講座やネットワークの構築に向けた研修会等を開催する。	農政課
経営継承・発展等支援事業 新規就農者育成総合対策事業に後継者でも活用できる経営発展支援事業が新設されたこともあり、活用を希望する者がいなかった。 ・補助実績：0 件	経営継承・発展等支援事業 将来にわたって地域での農業を担う経営体を確保するため、農家の後継者が行う販路開拓や新品種の導入等の取組みを支援する。 ・補助額：上限 1,000 千円（国 1/2、市 1/2）	農政課

②青年農業者の活動支援

4 Hクラブの活動支援 4 Hクラブの組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行った。 ・補助実績：3 団体、441 千円	4 Hクラブの活動支援 若い青年農業者（概ね 30 歳未満）で組織する 4 Hクラブの組織活動を通じた研修会や消費者との交流事業に対して支援を行う。	農政課
海外研修支援 海外研修に参加するチャレンジ精神旺盛な農業経営者を支援した。 ・補助実績：2 人、100 千円	海外研修支援 海外研修に参加するチャレンジ精神旺盛な農業経営者を支援する。	農政課
次世代のリーダー育成 若手就農者等の交流促進と資質向上を目的とする新規就農者自主活動グループの設立及び活動への支援を行った。 ・団体名：NEW AGRI くるめ 参加人数：8 人 (事業主体：久留米市農業振興協議会)	次世代のリーダー育成 若手農業者や後継者を対象に、交流促進と資質向上を目的とする新規就農者自主活動グループの設立及び活動を支援する。	農政課

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
③新規就農の促進		
就農相談 県普及指導センターや JA と連携して、就農相談を実施し、相談者の個々の状況に応じた就農へのアドバイスや各種事業の案内を行うとともに、青年等就農計画の作成支援を行った。 ・就農相談件数：198 件（98 人） ・認定新規就農者：9 経営体	就農相談 県普及指導センターや JA と連携して、就農相談を実施するとともに青年等就農計画の作成に向けた支援を行う。	農政課
農業の魅力発信 新規就農セミナー・相談会のブース出展やイベントでのノベルティ配布、相談窓口での就農支援を通じて、本市農業や就農の魅力を発信した。	農業の魅力発信 本市で活躍している新規就農者や青年農業者、認定農業者、女性農業者等を SNS やホームページ等の Web で発信し、農業の魅力や久留米での就農の期待を高める。	農政課
農業実践研修事業 本市で独立自営就農を目指す意欲ある者に対して、知識や技術の習得や地域農業者との関係構築を支援する。 ●農業実践研修支援事業費補助 研修生を受け入れる認定農業者等への支援 ・補助実績：0 件（対象者なし）	新規就農短期研修事業 本市で独立自営就農を目指す意欲ある者に対して、就農の具体的なイメージをつかむための短期研修を実施し、知識・技術の習得や地域農業者との関係構築を支援する。 ●新規就農短期研修事業費補助 短期研修を実施する農業者等への支援 ・補助額：3 千円/日（最長20日間） 事業主体：久留米市担い手育成総合支援協議会	農政課
就農定着サポート事業 新規就農者の初期負担軽減を図るため、農業用機械や生産資材等の購入にかかる費用を支援する。 ・補助実績：0 件（対象者なし）	就農定着サポート事業 就農当初の負担軽減を図るため、生産資材の購入に係る費用を支援する。 ・補助額：上限 200 千円 ・補助率：1/2	農政課

3. 多様な人材の活用

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農作業の受託に新たに取り組む障害者就労継続支援事業所数 (農政課)	事業所	—	2	2	2	2		3

R5年度 実績報告	R6年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

①農福連携の推進

県普及指導センターや JA、市障害者福祉課と連携し、先進事例の視察研修や農福連携の推進に向けた市内福祉事業所・農業者との意見交換会を実施した。 - 視察研修 日 時：R5.8.30～31 視察先：鹿屋市 - 作業見学会 日 時：R6.1.26 参加者：7 福祉事業所 12 名 - マニュアル（案）作成 (事業主体：農業振興協議会 経営振興部会)	県普及指導センターや JA と連携し、農業経営体の新たな人材確保として障害者就労支援事業所を対象とした研修会等を開催する。 (事業主体：農業振興協議会 経営振興部会)	農政課
障害者雇用理解促進事業 障害者雇用に関する理解促進を図るため、農業者・農業団体等に対して法令や制度等に関する研修会等を開催した。 (農業経営支援研修会（再掲）) - 開催日：R6.2.2、参加者 28 人 - 基調講演 演題：「農福連携は地域づくり」 講師：高知きずなファーム 代表理事 北村浩彦氏 (事業主体：市担い手育成総合支援協議会)	障害者雇用理解促進事業 障害者雇用に関する理解促進を図るため、農業者・農業団体等に対して法令や制度等に関する研修会等を開催する。	農政課

②外国人材の活用

外国人受入環境整備事業 外国人材の活用を検討している農業者等を対象に法令や制度改正の研修を実施した。 (農業経営支援研修会（再掲）) 多様な人材で農業経営の発展を 開催日：R6.2.2、参加者 28 人 演題：「外国人雇用のポイント」 講師：福岡県行政書士会 吉開絵理氏 (事業主体：担い手育成総合支援協議会)	外国人受入環境整備事業 外国人材の活用を検討している農業者を対象に個別相談会や研修会を開催する。 (事業主体：担い手育成総合支援協議会)	農政課
---	--	-----

【R 6 年度施策の方向性】

【基本施策 I】 担い手の育成・確保と労働力の確保 （農政課）

農業を持続的に発展させていくためには、基幹的な担い手である認定農業者や新規就農者、集落営農組織などの多様な担い手の確保と育成が必要である。

そのため、生産性と収益性が高く、効率的かつ安定的な農業経営体を育成・確保するために、県や農業団体等と連携し、基幹的な担い手である認定農業者等の経営改善に向けた研修会の開催、農業の魅力発信による新規就農の促進、就農前から就農後の営農定着までのきめ細やかな支援、女性農業者の経営参画に向けた人材育成や意識啓発に取り組む。

不足する労働力の確保については、外国人受入環境整備や障害者雇用に関する研修会の開催などに取り組んでいく。

水田農業を維持・発展していくためには、土地利用型農業の中心的な担い手である集落営農組織の安定的な経営が大変重要であり、集落営農組織の法人化や法人化後の経営基盤の強化に向けて税理士や社会保険労務士等による経営研修会、法人代表者同士の意見交換会などの取組を支援するとともに、高収益作物である野菜などの導入に取り組む農業者等を支援していくことで、地域農業を支える担い手の確保・育成、不足する労働力の確保に取り組んでいく。

【基本施策Ⅱ】 生産性・収益性の高い農業経営の実現

競争力のある産地を育成し、高い生産力を維持するため、生産施設や機械等の導入を支援するとともに、少ない労働力で収益性の高い農業を目指し、低コストのスマート農業の導入を推進します。

1. 米麦大豆、野菜、果樹、緑花木、花き、畜産の振興

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
主要野菜の生産量 (生産流通課)	t	28,169	29,528	31,377	27,184	27,688		31,950

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

①「米麦大豆」の振興

経営所得安定対策事業 農業経営の安定を図るため、国の経営所得安定対策事業を活用し、需要に応じた米・麦・大豆等の生産を促進し、農業者等の支援を行った。 ・主な交付金 畑作物の直接支払交付金（ゲタ） 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ） 水田活用の直接支払交付金（戦略作物・産地） （事業主体：久留米市水田農業推進協議会）	経営所得安定対策事業 農業経営の安定を図るため、国の経営所得安定対策事業を活用し、需要に応じた米・麦・大豆等の生産を促進し、農業者の所得向上を図る。 ・主な交付金 畑作物の直接支払交付金（ゲタ） 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ） 水田活用の直接支払交付金（戦略作物・産地） （事業主体：久留米市水田農業推進協議会）	生産流通課
ふるさと農業活性化対策事業 競争力ある土地利用型農業の確立を図るため、生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入などに係る経費を支援した。 ・補助実績： [ハード] 3件、1,064千円 [ソフト] 3件、1,000千円	ふるさと農業活性化対策事業 競争力ある土地利用型農業の確立を図るため、生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入などに係る経費を支援する。 ・補助率： [ハード] 4/10 [ソフト] 1/2	生産流通課
肥料高騰緊急対策事業【R4繰越】 肥料価格高騰の影響を受ける農業者を支援するため、肥料代を助成 ・補助率：市 1/10 ・補助実績：52 件、21,888 千円		生産流通課

②「野菜」の振興

活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業 ●活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。 ・補助実績：60件、206,081千円 (県187,956千円、市18,125千円) ・主な内容：パイプハウス及び附帯施設、 播種・施肥用機械など ●産地生産基盤パワーアップ事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援した。 ・補助実績：8件、91,480千円 (国83,374千円、市8,106千円) ・主な内容：低コスト耐候性ハウス整備など	活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業 県農林事務所や JA と連携し、野菜の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。 ●活力ある高収益型園芸産地育成事業 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20 ●産地生産基盤パワーアップ事業 ・補助率：国1/2、市1/20	生産流通課
●農業用ハウス湛水被害軽減対策事業費補助事業 湛水リスクが高いエリアから、無いエリアへの農業用ハウスの移転に必要な経費、また浸水リスクの低いエリアにおいて、農業用ハウスへの浸水を防ぐために必要な排水ポンプや浸水防止壁の整備経費を助成した。 ・補助実績：4件、8,067千円 (県7,255千円、市812千円) ・主な内容：浸水防止壁、排水ポンプの設置など	●農業用ハウス湛水被害軽減対策事業費補助事業 湛水リスクが高いエリアから、無いエリアへの農業用ハウスの移転に必要な経費、また浸水リスクの低いエリアにおいて、農業用ハウスへの浸水を防ぐために必要な排水ポンプや浸水防止壁の整備経費を助成。 ・補助率：県 1/2 又は 1/3、市 1/20	生産流通課
●園芸農業 DX 推進事業費補助金 物価高騰に伴う生産コストの上昇を受け、燃料や農薬使用量の低減、省力化につながるスマート農業機械の導入を推進した。 ・補助実績：15 件、72,334 千円 (県 65,850 千円、市 6,484 千円) ・主な内容：高性能省力機械の導入、 パイプハウス及び附帯施設	●園芸農業 DX 推進事業費補助金 物価高騰に伴う生産コストの上昇を受け、燃料や農薬使用量の低減、省力化につながるスマート農業機械の導入を推進。 ・補助率：県 1/2 、市 1/20	生産流通課

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
肥料高騰緊急対策事業【R4繰越】 肥料価格高騰の影響を受ける農業者を支援するため、肥料代を助成 ・補助率：市 1/10 ・補助実績：52 件、21,888 千円		生産流通課

③「果樹」の振興

活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。 ・補助実績：60件、206,081千円 （県187,956千円、市18,125千円） ・主な内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など	活力ある高収益型園芸産地育成事業 農林事務所やJAと連携し、果樹の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20	生産流通課
肥料高騰緊急対策事業【R4繰越】 肥料価格高騰の影響を受ける農業者を支援するため、肥料代を助成 ・補助率：市 1/10 ・補助実績：52 件、21,888 千円		生産流通課

④「緑花木」の振興、⑤「花き」の振興

商談会等出展支援 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援した。 ・実績 1 件（田主丸地域）24 千円	商談会等出展支援 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2（上限 100 千円）	農業の魅力促進課
生産団体等への支援 緑花木関連団体や花き生産・流通団体等が実施する生産技術向上のための研修会や、PR イベント等への取組に対して支援を行った。 ●植木花卉振興対策事業 ・補助実績：6 団体、4,554 千円 福岡県苗木農協、くるめ緑花センター協同組合、久留米花卉園芸農協、久留米市花卉生産組合、久留米地域植木・花卉市場連絡協議会、田主丸町植木農協 ●地域特産物普及推進対策事業 ・補助実績：3 団体、2,470 千円 久留米つつじまつり実行委員会、久留米菊花振興会、グリーンフェスティバル実行委員会 ●久留米産花卉のPR 令和5年11月11日、12日に開催されたふるさとくるめ農業まつりでは、会場内でアンケート調査及び久留米産花卉の配布を行い、PRを行った。 （久留米地域植木・花卉市場連絡協議会）	生産団体等への支援 緑花木関連団体や花き生産・流通団体等が実施する生産技術向上のための研修会や、PR イベント等への取組に対して支援を行う。	農業の魅力促進課

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
●フラワー都市交流事業 全国 8 都市の加盟都市を迎え、フラワー都市交流連絡協議会の久留米市総会の開催及び関連事業を実施。 日時：令和 5 年 4 月 26 日～27 日 会場：久留米シティプラザほか	●フラワー都市交流事業 全国 9 都市の加盟都市が一堂に集うフラワー都市交流連絡協議会総会及び関連事業に参加し、久留米つつじの魅力を PR する。 日 時：令和 6 年 4 月 25 日～26 日 開催自治体：砺波市	農業の魅力促進課
肥料高騰緊急対策事業【R4繰越】 肥料価格高騰の影響を受ける農業者を支援するため、肥料代を助成 ・補助率：市 1/10 ・補助実績：52 件、21,888 千円		生産流通課

⑥「畜産」の振興

優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入に係る経費を支援した。 ・補助実績：1件、1,771千円 優良雌牛 19 頭、受精卵 2 個	優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入に係る経費を支援する。 ・補助率：優良雌牛 1/5 受精卵 1/2	生産流通課
乳牛共進会事業 畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を図るため、共進会の開催に係る経費を支援する。 ・補助実績：1件、451千円	乳牛共進会事業 畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を図るため、共進会の開催に係る経費を支援する。 ・補助率：1/2	生産流通課
酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等に対して支援を行った。 ・補助実績：1件、813千円	酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図る。 ・補助率：1/2	生産流通課
酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援を行った。 ・補助実績：1件、2,924千円	酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援を行う。 ・補助率：1/3	生産流通課
博多和牛ブランド強化対策事業 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と生産者の経営安定に資するため、もと牛（子牛）の購入経費および飼養規模拡大に係る施設・機械の整備等に対して支援を行った。 【子牛確保対策】 ・補助実績：3件、頭数110頭、5,720千円 【出荷増頭対策】 ・補助実績：2件、8,431千円	博多和牛ブランド強化対策事業 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と生産者の経営安定に資するため、もと牛（子牛）の購入経費および飼養規模拡大に係る施設・機械の整備等に対して支援を行う。 【子牛確保対策】 ・補助率（額）：52 千円/増頭数 【出荷増頭対策】 ・補助率：1/2	生産流通課

飼料高騰緊急対策事業【6月補正】 飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家を支援するため飼料の購入経費に対して支援を行った。 ・補助率：飼料代の上昇分（基準価格との差額）の1/10 ・補助実績：49件、25,930千円		生産流通課
被災畜産農家経営再建支援事業【9月補正】 令和5年梅雨前線豪雨により、肉用鶏や自給粗飼料が被害を受けた畜産農家に対して、肉用鶏の再生産に必要なヒナや代替となる粗飼料の購入経費に対して支援を行った。 【ヒナの導入】 ・補助率：県1/2、市1/20 ・補助実績：3件、840,000千円 （県765,000千円、市75,000千円） 【代替粗飼料の購入】 ・補助率：市1/20 ・補助実績：1件、301,000千円		生産流通課

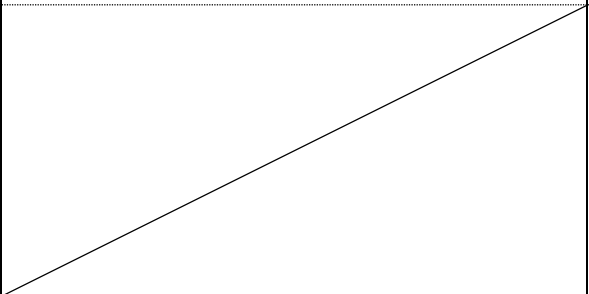
2. 効率的な生産体制の確立

指標項目	単位	現状値(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値(R7)
スマート農業に取り組む農家数（生産流通課）	戸	3	21	32	42	77		21 (累計)

R5年度 実績報告	R6年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

①生産施設や機械等の導入支援

水田農業担い手機械導入事業 土地利用型農業において、農作業の集約化、生産コスト低減及び生産規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人並びに認定農業者）に対し、高性能農業機械の導入に要する経費を支援した。 ・補助実績：15件、42,556千円 （県28,365千円、市14,191千円） ・内容：トラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機 等	水田農業担い手機械導入事業 土地利用型農業において、農作業の集約化、生産コスト低減及び生産規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人、集落営農組織及び認定農業者等）に対し、高性能農業機械の導入並びに大規模な改修に要する経費を支援する。 ・補助率：県1/3、市1/6	生産流通課
水田農業 DX 農業推進事業【R4繰越含む】 水田農業において、デジタル技術の活用による生産管理の効率化並びに経営規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人並びに認定農業者）に対し、スマート農業機械の導入に要する経費を支援した。 ・補助実績：29件、126,988千円 （県84,595千円、市42,393千円） ・内容：トラクター、コンバイン、田植機、ドローン、自動操舵システム 等	水田農業 DX 農業推進事業【R5繰越】 水田農業において、デジタル技術の活用による生産管理の効率化並びに経営規模の拡大に取り組む担い手（集落営農法人、集落営農組織及び認定農業者等）に対し、スマート農業機械の導入に要する経費を支援する。 ・補助率：県1/3、市1/6	生産流通課

活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業 ●活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。 ・補助実績：60件、206,081千円 (県187,956千円、市18,125千円) ・主要内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など ●産地生産基盤パワーアップ事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援した。 ・補助実績：8件、91,480千円 (国83,374千円、市8,106千円) ・主要内容：低コスト耐候性ハウス整備など	活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業（再掲） 県農林事務所やJAと連携し、野菜の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。 ●活力ある高収益型園芸産地育成事業 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20 ●産地生産基盤パワーアップ事業 ・補助率：国1/2、市1/20	生産流通課
ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行った。 ・補助実績：36件、73,696千円 (県67,003千円、市6,693千円)	ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。 ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20	生産流通課
堆肥利用拡大によるワンヘルス推進事業(堆肥製造強化)【12月補正】 肥料価格高騰の影響を受けない堆肥の利用拡大を推進するために、農業者等が行う堆肥の製造機械等の導入に対して支援を行った。 ・補助率：県1/2、市1/20 ・補助実績：13件、48,495千円 (県44,087千円、市4,408千円)		生産流通課
農業機械・施設災害復旧支援事業（災害） R5.7 月大雨により被災したハウス施設や農業用機械の再取得、修繕等に係る経費を支援した。 ・施設復旧 補助率：県 8/10 補助実績：445 件、196,170 千円 ・機械復旧 補助率：県 5/10、市 3/10 補助実績：598 件、298,271 千円 ・土砂撤去 補助率：県 8/10 補助実績：12 件、8,824 千円 ・災害回避 補助率：県 5/10、市 3/10 補助実績：58 件、35,698 千円	農業機械・施設災害復旧支援事業（災害） 【R6 繰越分】 R5.7 月大雨により被災したハウス施設や農業用機械の再取得、修繕等に係る経費を支援する。 ・施設復旧 補助率：県 8/10 ・機械復旧 補助率：県 5/10、市 3/10 ・災害回避 補助率：県 5/10、市 3/10	生産流通課

農地利用効率化等支援交付金【R4 繰越】 地域が目指すべき将来の集約化に重点置いた農地利用の姿の実現に向けて、経営改善に取り組む場合、必要な農業用機械・施設の導入に要する経費を支援した。 ・補助率：国 3/10 ・補助実績：1 件、1,401 千円（国）		生産流通課
米麦の種子生産担い手支援事業【9 月補正】 安全で安心な米麦種子の生産性の向上を図るため、米麦の種子生産に必要な穀物乾燥機（種子用に限る）の導入に要する経費を支援した。 ・補助率：県 1/2、市 1/20 ・補助実績：1 件、1,152 千円 （県：1,048 千円、市：104 千円）		
制度資金の利子補給 機械等を導入する場合に活用する農業経営体育成資金（スーパー L）や、災害復旧等に対する制度資金に対し、利子の助成を行った。 ・農業経営体育成資金（L 資金）利子助成 実績：5 件、84 千円 （県 42 千円、42 千円）	制度資金の利子補給 農業経営体育成資金（スーパー L）や農業近代化資金、災害復旧等に対する制度資金について、利子の助成を行う。	農政課

3. 安全で安定的な農産物の提供

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
GAP を取得した農業団体等の数（生産流通課）	団体	6	6	6	8	9		12 (累計)
有害鳥獣による農産物被害額 (農村森林整備課)	千円	36,755	38,981	48,382	46,003	集約中		33,080

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

①安全な農産物の生産

GAP 推進事業 食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取り組みである GAP の認証取得等に係る費用を支援した。 ・補助実績：[GAP] 1 件、50 千円 [GAP 認証取得支援] 84 千円	GAP 推進事業 食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取組である GAP の認証取得等に係る費用を支援する。 ・補助率：1/2（上限 500 千円）	生産流通課
環境保全型農業直接支払事業 環境保全に効果の高い営農活動（カバークロップ、堆肥の施用、有機農業）に対して支援を行った。 ・補助実績：9 件、5,036 千円	環境保全型農業直接支払事業 化学肥料・化学合成農薬を原則 5 割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。 ・補助率：国 1/2、県 1/4、市 1/4	生産流通課

<u>久留米産農産物の安全性向上事業</u> ●残留農薬自主検査支援事業費補助金 JA、出荷組合・団体、認定農業者等が新たに実施する残留農薬自主検査への取り組みを支援した。 ・補助実績：実施主体 2 件、1,490 千円	<u>久留米産農産物の安全性向上事業</u> ●残留農薬自主検査支援事業費補助金 JA、出荷組合・団体、認定農業者等が新たに実施する残留農薬自主検査への取り組みを支援する。 ・補助率：上限1万円(検査1件当たり)	生産流通課
--	--	-------

②安定的な農産物の生産

<u>災害回避に向けた啓発・促進</u> 県の事業を活用し、災害回避に向けた啓発・促進に取り組んだ。	<u>災害回避に向けた啓発・促進</u> 県の事業を活用し、浸水防止壁の設置等に対する支援を行うなど、災害回避に向けた啓発・促進に取り組む。	生産流通課
<u>野菜価格安定対策事業</u> 野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行った。 ●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 ・資金造成割合：国1/3、県1/3、市1/15、生産者4/15（※負担割合の例外品目の場合：国1/2、県1/4、市1/20、生産者1/5） ・対象：JAくるめ(小松菜、いちご、夏秋きゅうり)、JAみい(春菊、三つ葉、ニラ、水菜)、JA福岡大城(アスパラガス)	<u>野菜価格安定対策事業</u> 国の事業を活用し、野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行う。 ●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 ・資金造成割合：国1/3、県1/3、市1/15、生産者4/15（※負担割合の例外品目の場合：国1/2、県1/4、市1/20、生産者1/5）	生産流通課
●野菜生産出荷安定事業 ・資金造成割合：県4/10、市1/10、JA 1/10 生産者4/10 ・対象：JAくるめ(葉ねぎ)、JAにじ(いちご)、JAみい(ほうれん草、青ネギ、小松菜)、JA福岡大城(青ネギ、いちご)、JAみづま(いちご) (事業主体：ふくおか園芸農業振興協会)	●野菜生産出荷安定事業 ・資金造成割合：県4/10、市1/10、JA 1/10、生産者4/10 (事業主体：ふくおか園芸農業振興協会) 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入啓発・促進に取り組む。	生産流通課

③有害鳥獣広域防除対策事業

<u>有害鳥獣広域防除対策協議会</u> 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動を支援した。 ●有害鳥獣広域防除対策協議会補助 事業費：8,037 千円（市補助 6,400 千円） ・主な捕獲実績：イノシシ 180 頭 カラス 530 羽 ●鳥獣被害防止総合対策整備事業 事業費 9,451 千円（国補助 9,451 千円） 事業内容：電気柵 10 戸 3,710m ワイヤー柵 33 戸 9,110m	<u>有害鳥獣広域防除対策協議会</u> 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動を支援する。 ●有害鳥獣広域防除対策協議会補助 事業費：8,037 千円（市補助 6,840 千円） ●鳥獣被害防止総合対策整備事業 事業費 9,608 千円（国補助 9,608 千円） 事業内容：電気柵 16 戸 4,000m ワイヤー柵 28 戸 10,000m ※事業費等は内報がでていないため要望額	農村森林整備課
---	--	---------

鳥獣被害対策実施隊 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行った。 ・被害調査件数：39件	鳥獣被害対策実施隊 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行う。	農村森林整備課
--	--	---------

④卸売市場の施設整備

主な改修工事 ・冷蔵庫棟外部改修工事設計業務（事業費 2,057 千円） ・青果部卸売場屋根改修工事（事業費 3,427 千円） ・青果部卸売場箱樋防水改修工事（事業費 7,447 千円） ・青果棟屋根改修工事（事業費 24,176 千円）	主な改修工事 ・青果事務所棟外壁塗装改修工事設計（予算 2,003 千円） ・冷蔵庫棟プラットフォーム屋根拡張改修工事設計（予算 3,807 千円） ・冷蔵庫棟（青果）外壁爆裂補修塗装屋根・笠木防水改修工事（予算 33,613 千円） ・水産事務所棟庇屋根板金補修・塗装（予算 7,556 千円）	中央卸売市場
---	---	--------

【R6年度施策の方向性】

【基本施策Ⅱ】 生産性・収益性の高い農業経営の実現（生産流通課・農業の魅力促進課・農村森林整備課）
《生産振興の強化》 土地利用型農業においては、生産農家の経営安定を図るために、国の経営所得安定対策等を活用し、米・麦・大豆・飼料用米等の生産を支援するとともに、需要に応じた米の生産を図っていく。 また、収益性の高い農業を推進するため、国・県事業を積極的に活用し、農業機械の導入や施設整備への支援を行うとともに、ICT 技術を活用したスマート農業を推進し、経営規模の拡大・省力化を進め、生産者の所得向上を図っていく。 さらには、花きや緑花木の持つ癒しや魅力の情報発信に取り組み、各生産団体が行う販路拡大や栽培技術の向上に資する取組に対して、引き続き支援を行い、生産振興を図っていく。
《安全で安定的な農産物の提供》 市内の農産物をイノシシ・ドバト・カラス等の被害から守るため、農業生産者や猟友会、市で構成された「久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会」で有害鳥獣からの適正な防除やその駆除を実施する。 また、久留米産農産物の安心・安全に係る取組を強化するため、農業団体や県・市で構成された「農薬安全使用対策協議会」等が取り組む農薬安全使用講習会の開催を支援するとともに、農業団体や生産者等が行う残留農薬の自主検査等の取組を支援していく。

【基本施策Ⅲ】 持続可能な生産基盤の確立

将来にわたって生産効率の高い営農を維持・向上するため、農業生産基盤の整備や長寿命化対策を進めるとともに、災害を未然防止・減災するための農業施設の整備・改修に取り組みます。

また、農地の有効利用を促進するとともに、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図ります。

1. 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
ため池や排水機場等の 整備・改修件数 (農村森林整備課)	施設	—	0	0	4	5		8 (累計)

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

① 農業生産基盤の整備・改修

農業水利施設保全対策事業 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点により、的確な予防保全を実施した。 ・実施地区数：13 地区 ・主な施設：揚水機場・ゲート・排水機場・用水路 ・事業費：530,496 千円 ・地元負担金：125,231 千円	農業水利施設保全対策事業 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点により、的確な予防保全を実施する。 ・実施地区数：13 地区 ・主な施設：揚水機場・ゲート・排水機場・用水路 ・事業費：384,619 千円 ・地元負担金：91,162 千円	農村森林整備課																								
農地防災事業 ため池・用排水施設・井堰等の改修等を行い、洪水による災害の未然防止を図った。 ・県営農地防災事業負担金：38,657 千円 ・県営水利施設整備事業負担金：3,750 千円	農地防災事業 ため池・用排水施設・井堰等の改修等を行い、洪水による災害の未然防止を図る。 ・県営農地防災事業負担金：32,264 千円 ・県営水利施設整備事業負担金：10,500 千円	農村森林整備課																								
生産基盤整備事業 国営土地改良事業の一環として、利水施設の改良、ほ場・農道・用排水路整備等を実施し、農業生産の向上を図る。 ・ほ場整備事業推進中地区 山本町耳納	生産基盤整備事業 国営土地改良事業の一環として、利水施設の改良、ほ場・農道・用排水路整備等を実施し、農業生産の向上を図る。 ・ほ場整備事業推進中地区 山本町耳納	農村森林整備課																								
農業用施設整備事業 農業振興を図る地域において、道路・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図った。 <table><tr><td>工 種</td><td>箇所数</td><td>整備延長 (m)</td><td>事業費 (千円)</td></tr><tr><td>農 道</td><td>22</td><td>3,450</td><td>102,075</td></tr><tr><td>用排水路</td><td>4</td><td>370</td><td>35,508</td></tr></table>	工 種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農 道	22	3,450	102,075	用排水路	4	370	35,508	農業用施設整備事業 農業振興を図る地域において、道路・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図る。 <table><tr><td>工 種</td><td>箇所数</td><td>整備延長 (m)</td><td>事業費 (千円)</td></tr><tr><td>農 道</td><td>17</td><td>2,915</td><td>66,134</td></tr><tr><td>用排水路</td><td>11</td><td>1,165</td><td>74,446</td></tr></table>	工 種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農 道	17	2,915	66,134	用排水路	11	1,165	74,446	農村森林整備課
工 種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																							
農 道	22	3,450	102,075																							
用排水路	4	370	35,508																							
工 種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																							
農 道	17	2,915	66,134																							
用排水路	11	1,165	74,446																							

R 5 年度 実績報告		R 6 年度 実施計画		担当課
防災重点農業用ため池対策事業 防災重点農業用ため池について、「劣化状況評価」を実施した。 ・補助率：国 10/10 ・劣化状況評価業務 15 箇所 ・地震・豪雨耐性評価業務 5 箇所		防災重点農業用ため池対策事業 防災重点農業用ため池について「劣化状況評価」、「地震・豪雨耐性評価」を実施する。 補助率：国 10/10 ・劣化状況評価業務 15 箇所 ・地震・豪雨耐性評価業務 4 箇所 ・ため池廃止設計 1 箇所		農村森林整備課
防災重点農業用ため池浚渫事業 防災重点農業用ため池の浚渫を計画的に実施した。 ・緊急浚渫推進事業債 100% ・ため池浚渫業務委託 1 業務(2 池) ・水利施設管理強化事業 8 池		防災重点農業用ため池浚渫事業 防災重点農業用ため池の浚渫を計画的に実施する。 ・緊急浚渫推進事業債 100% ・ため池浚渫業務委託 5 箇所 ・水利施設管理強化事業 17 池		農村森林整備課
農業用施設浸水対策事業 浸水対策効果が見込まれる農業用施設の整備・改修に取り組み、浸水被害の軽減を図った。 ・農業用施設整備・改修工事 4 箇所		農業用施設浸水対策事業 浸水被害の軽減を図るため、浸水対策効果が見込まれる農業用施設の整備・改修に取り組む。 ・農業用施設整備・改修工事 4 箇所		農村森林整備課
流域湛水減災対策事業 筑後川下流域の浸水被害の軽減を図るため、先行排水に資するクリークの浚渫や農業用水利施設の整備・改修等に取り組む。 ・県単補助 50% ・緊急浚渫推進事業債 100% クリーク等浚渫業務委託 6 箇所 ・緊急自然災害防止対策事業債 100% 樋門樋管等改修業務委託 9 箇所 クリーク護岸改修工事 4 箇所		流域湛水減災対策事業 筑後川下流域の浸水被害の軽減を図るため、先行排水に資するクリークの浚渫や農業用水利施設の整備・改修等に取り組む。 ・県単補助 50% ・緊急浚渫推進事業債 100% クリーク等浚渫業務委託 9 箇所 ・緊急自然災害防止対策事業債 100% 樋門樋管等改修業務委託 11 箇所 クリーク護岸改修工事 5 箇所		農村森林整備課

2. 農地の有効利用の促進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
耕作放棄地の面積 (農業委員会)	ha	104	104	99	98	94		95
認定農業者等の農地 利用集積率 (農政課)	%	54	57	56	57	59		60

R 5 年度 実績報告		R 6 年度 実施計画		担当課
① 荒廃農地の発生抑制と解消				
農地パトロールの実施 地区担当の推進委員、農業委員、市及び事務局職員合同で、道路からの目視や立ち入りによる調査を実施した。 ・実施期間：R5.8.16～R5.9.19		農地パトロールの実施 関係機関等と連携し、8月から9月にかけて農地パトロールを行い、現状や課題の把握を行う。		農業委員会

荒廃農地再生事業費補助金事業 荒廃農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等に支援を行った。 ・補助実績：6件、1.6ha、4,687千円	荒廃農地再生事業費補助金事業 荒廃農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等の支援を行う。 ・補助率：1/2（上限1,000千円/件）	農政課
農地利用の最適化 利用権設定や農地中間管理事業により担い手への集約化のための有効活用を図った。耕作放棄地解消に向けた現状と解消方法については、11月に関係機関による協議会を開催し、情報の共有化を図った。	農地利用の最適化 システムを活用し、担い手への農地の集約化を推進することで耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、農地利用最適化協議会において、関連機関で情報の共有化を図り、耕作放棄地の解消に努める。	農業委員会

②農地の集積・集約化

農地中間管理事業 農地賃借の受け皿である「農地中間管理機構」を活用した、担い手への農地の集積・集約化を支援した。 ●経営転換協助力金 ・該当なし ●地域集積協助力金 ・該当なし ●集約化奨励金 ・該当なし ●農地の大区画化・集約化推進事業 ・該当なし	農地中間管理事業 農地賃借の受け皿である「農地中間管理機構」を活用し、担い手への農地の集積・集約化を推進する。 ●地域集積協助力金 ・機構の活用率に応じて交付する。 （1.3万円～3.4万円/10a） ●集約化奨励金 ・地域の団地面積の割合に応じて交付する。 （1.0万円～3.0万円/10a） ●農地の大区画化・集約化推進事業 農地の面的な集約化や畦畔除去による農地の大区画化の取組に対して交付する。 （地域での利用調整の取組等） ・補助額：5千円/10a・ （畦畔除去等の簡易な整備） ・補助額：50千円/10a以内 ●法改正に基づく制度への対応 法改正に伴う中間管理事業の制度内容見直しによる手続き等について、令和7年度から円滑な対応を図れるよう準備を行う。	農政課
地域計画の策定 これまで地域農業の在り方を示した「人・農地プラン」を法定化したものであり、概ね10年後における地域の農地利用の姿（目標地図）をまとめた計画である「地域計画」を令和6年度中に策定する必要がある。 令和5年度においては、県等の関係機関等と協議を重ね、モデル地区（宮ノ陣町八丁島地域）を設定し、意向調査を実施した。	地域計画の策定 これまで地域農業の在り方を示した「人・農地プラン」を法定化したものであり、概ね10年後における地域の農地利用の姿（目標地図）をまとめた計画である「地域計画」を策定する。 【主な作業】 ・耕作者等への意向調査 ・現況地図及び目標地図（素案）の作成 ・地域協議の開催 ・地域計画（目標地図）の作成	農政課・農業委員会

③優良農地の確保

農用地利用計画の一部変更 農振法の規定等に基づき、適切に整備計画の変更を行った。 ・除外8件 8,724㎡	農用地利用計画の一部変更 農振法の規定等に基づき、農地の確保を図りながら、適切な整備計画の管理と、申出に応じた一部変更を行う。	農政課
--	---	-----

3. 農業・農村の多面的機能の発揮

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
農業・農村の持つ多面的機能の維持に取り組む活動農地面積の割合 (農村森林整備課)	%	70	68	70	70	70		75

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

① 多面的機能の維持・発揮

多面的機能支払事業交付金 農業・農村の持つ多面的機能の維持発揮に取り組む活動組織（105 団体）への支援を通じ、農道・用排水路等の地域資源の良好な保全管理・防災減災機能の保持に努めるとともに、田んぼダム取組推進への働きかけを行った。 ・負担率：国 1/2、県 1/4、市 1/4 ・事業実績：292,467 千円(対象 105 組織) (国 146,233 千円、県 73,116 千円、市 73,118 千円) ・田んぼダム促進事業 4,568 千円	多面的機能支払事業交付金 農業・農村の持つ多面的機能の維持発揮に取り組む活動組織（110 団体）への支援を通じ、農道・用排水路等の地域資源の良好な保全管理・防災減災機能の保持に努めるとともに、田んぼダム取組推進への働きかけを行う。 ・負担率：国 1/2、県 1/4、市 1/4 事業費：331,511 千円(対象 110 組織) (国 165,755 千円、県 82,877 千円、市 82,879 千円) ・田んぼダム促進事業 8,646 千円	農村森林整備課
中山間地域等直接支払交付金 第 5 期（R2～R6）対策において、協定に基づいて実施された地域の農業生産活動に対して支援を行った。 ・補助実績：6 集落（380 戸）、約 132ha 10,590 千円 (国 5,295 千円、県 2,647 千円、市 2,647 千円)	中山間地域等直接支払交付金 耕作条件が不利な中山間地域の多面的機能の維持・保全に取り組む水稲集落の活動を支援する。 令和 6 年度は、次期 5 年間の新たな計画の策定年度となる。 ・補助率（額）：8 千円/10a (国 1/2、県 1/4、市 1/4) ・集落協定：6 集落 約 132ha (森部、石垣、大井、二田、益永、麦生) 事業費：10,590 千円 (国 5,295 千円、県 2,647 千円、市 2,647 千円)	農政課・田主丸産業振興課

【R 6 年度施策の方向性】

【基本施策Ⅲ】 持続可能な生産基盤の確立 （農政課・農村森林整備課・農業委員会）

《農業生産基盤等の整備》

農業に対する先行きの不安感や事業費の地元負担などの理由から、ほ場整備事業に対する関心は低い状況にあるが、生産効率の高い農業構造の実現を図るため、ほ場の区画整理、大区画化・農道や用排水路の整備を行ってきた。今後も、関係者の理解促進を図りながら事業推進に取り組んでいく。

また、土地改良事業完了後の経年劣化による農業水利施設の機能・効用低下を未然に防ぐため、県や土地改良区等施設管理者と連携しながら長寿命化対策や防災減災機能の保持等に取り組むとともに、クリークの浚渫や防災重点農業用ため池・用排水施設・井堰等の改修を進めること、及び田んぼダム推進のための地元協議をすすめることにより、洪水等による浸水・湛水災害の未然防止を図っていく。

《農地の有効活用》

農地の有効利用を促進するため、農業委員会による「利用状況調査（農地パトロール）」や、利用状況調査の結果を踏まえた「遊休農地（荒廃農地）の発生・解消状況に関する調査」により、遊休農地の状況把握に努め、農地としての活用がなされていない所有者には「利用意向調査」を行っている。また、自ら耕作できない所有者には、担い手への農地をあっせんするとともに、荒廃農地を借り受けて農地の再生に取り組む農業者等には、農地の整備や土壌改良にかかる経費を支援している。

また、令和 6 年度においては、これまでの地域農業の在り方を示した「人・農地プラン」を法定化し、概ね 10 年後における地域の農地利用の姿（目標地図）をまとめた計画である「地域計画」を策定することで、将来にわたって地域農業の担い手を確保しながら農地の有効利用を図っていく。

今後も、効率的で安定的な農業経営を推進するため、農業委員会と連携しながら、農地中間管理事業の活用など、認定農業者等の基幹的な担い手への農地集積を推進していく。

《多面的機能の維持・発揮》

農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するため、国の多面的機能直接支払交付金や中山間地域等直接支払い交付金を活用し、農業者だけでなく地域ぐるみの協働活動の拡大に向けた取組を支援するとともに、農道等の安全対策を講じて安心・安全な農村環境づくりに取り組んでいく。

【基本施策Ⅳ】 「農業都市・久留米」の理解促進

「農業都市・久留米」の認知度やブランド力の向上を図るため、農業以外の様々な分野や関連団体・関連産業と連携し、久留米市の農業や農産物、農村の魅力を発信します。

また、農業の公益的機能や地産地消の推進等を通じて、市民に愛される「農業都市・久留米」を目指します。

1. 「農業都市・久留米」の魅力発信によるブランド力向上

指標項目	単位	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
福岡都市圏での農業都市久留米の認知度 (農業の魅力促進課)	%	18.8	—	—	—	58.6		50

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

①久留米産農産物の効果的な情報発信

安全・安心な久留米産農産物の魅力発信事業 久留米産農産物の安全・安心、魅力を PR する動画をイベントや久留米市農産物販売力強化推進協議会がスーパー等に設置しているモニターで放映し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図った。 ・催事（農業まつり、市場まつり）での放映 ・野菜の日に合わせた庁舎 1 階での放映 ・市内スーパー等に設置しているモニターでの放映	安全・安心な久留米産農産物の魅力発信事業 久留米産農産物の安全・安心、魅力を PR する動画をイベントや久留米市農産物販売力強化推進協議会がスーパー等に設置しているモニターで放映し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図る。 また、これまで作成した素材をより有効活用できるよう再編集を進める。	農業の魅力促進課
大都市圏の市場関係者等に向けた PR イベント 大都市圏の市場関係者等を対象に P R を行うことで、久留米産農産物の認知度向上や取扱量の拡大を図った。 【福岡市中央卸売市場】 ・日時：R5.10.17(火) ・内容：柿とトマトをメインとしたトップセールス 【大阪市中央卸売市場】 ・日時：R5.11.2(木) ・内容：サラダ菜とリーフレタスをメインとしたトップセールス (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	大都市圏の市場関係者等に向けた PR イベント 大都市圏の市場関係者等を対象に P R を行うことで、久留米産農産物の認知度向上や取扱量の拡大を図る。 ・10 月(予定) 福岡市中央卸売市場 ・11 月(予定) 大阪市中央卸売市場 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	農業の魅力促進課
【新規】青果市場等への視察 大阪以西の青果市場または小売店などへ視察を行う予定だったが、大雨による災害対応のため未実施。	他市場等との調整 農業団体と意見交換等を継続実施	農業の魅力促進課

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR 博多駅で久留米農産物マルシェを開催し、アンケートを実施。 ・日時：R5.9.16(土) ・内容：久留米産農産物及び6次産業化商品を販売し、「農業都市・久留米」のPRを行った。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR 大都市圏で久留米の農業・農産物についてマルシェ等を開催し、「農業都市・久留米」のイメージ向上・定着を図るとともに、農業都市ブランド力強化のために久留米農業のファン獲得を図る。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	農業の魅力促進課

②「道の駅くるめ」における情報の受発信

「道の駅くるめ」の情報発信力向上 イベント広場の大型屋根を活用し、道の駅くるめの販売力及び情報発信を強化するとともに、新たに建設予定である出荷物等調製施設の整備を進め、出荷量の増加に対応することで、さらなる販売力の強化に努めるなど、「農業都市・久留米」の魅力を発信する。	「道の駅くるめ」の情報発信力向上 出荷物等調製施設を活用し、魅力的な農産物の集荷体制の強化に努める。 また、デジタルサイネージ等で更に近隣地域への周遊を促す。	農業の魅力促進課
---	--	----------

③緑花木のブランド力向上と需要の喚起

緑花木の情報発信 つつじまつりやつばきフェア等の緑花木関連のイベント開催を支援し、チラシや市HP、公式ライン等SNS、さまざまな媒体を活用し、魅力発信を行った。	緑花木の情報発信 つつじまつりやつばきフェア等の開催を支援し、「久留米つつじ」や「久留米つばき」等の魅力発信を図る。	農業の魅力促進課
久留米つつじのPR ●地元関連企業や姉妹都市、ふるさと大使等へアザレアを進呈し、PRを行った。(44箇所49鉢) ●市内小学校で久留米つつじの歴史等を学習するとともに、植栽を行うための苗の提供と植え付け指導を実施し、市民への久留米つつじの宣伝・普及及び愛着の醸成と認知度向上を図った。 ・実施校：3校 ●ふるさとくるめ農業まつりで、アンケート回答者へ久留米アザレアを配布し、PRを行った。 開催日：R5.11.11(土)・12(日) 配布数：200鉢 久留米市世界つつじセンターとの連携 ●市庁舎ロビーに久留米つつじを展示・PRを行った。 ・展示期間：R5.4.11(火)～14(金) ●久留米つつじを始めとした、ツツジ類の保存育成を行った。 ●フラワー都市交流久留米市総会会場に久留米つつじを展示し、また、参加者へのPR資材を配布することで、市内外への情報発信を行った。	久留米つつじのPR ●大都市圏の地元関連企業等へアザレアを進呈し、PRを図る。 ●市内小学校で久留米つつじの歴史等を学習するのにあわせて、植栽を行うための苗の提供と植え付け指導を実施し、市民への久留米つつじの宣伝・普及及び愛着の醸成と認知度向上を図る。 ●ふるさとくるめ農業まつりでのPR 久留米アザレアを配布し、実際に緑花木の魅力に触れることで、緑花木への愛着等の醸成を図ることで、消費拡大につなげる。 久留米市世界つつじセンターとの連携 ●久留米つつじの更なる品種の収集に努め、その情報を発信する。 ●市庁舎等に久留米つつじを展示し、PRを行う。 ●久留米つつじを始めとした、ツツジ類の保存育成を行う。 ●久留米つつじ生産者への親木の提供など多様な品種の生産振興に努める。	農業の魅力促進課

2. 地産地消を通じた魅力発信

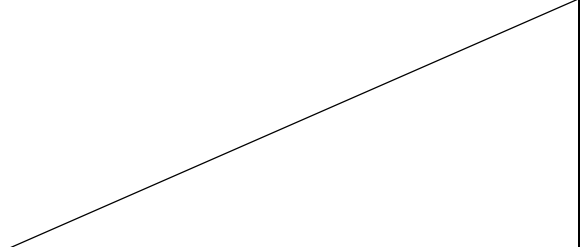
指標項目	単位	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
地産地消を意識している市民の割合(農業の魅力促進課)	%	52.7	—	54.0	52.1	50.6		65

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

① 久留米産農産物を購入・消費できる環境整備

久留米産農産物の表示強化 ●キラリ久留米ロゴマーク導入支援 キラリ久留米ロゴマークを活用した包装資材版代、シール作成等に対して支援を行った。 ・補助実績：2 団体、383 千円 ●スーパーや小売店での表示強化 市内のスーパーや JA と連携し、久留米産農産物のコーナーにのぼりやパネルなどを設置することで久留米産農産物を購入しやすい環境を整備した。 ・支援実績：なし (R5 年度末時点 8 店舗設置済) (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	久留米産農産物の表示強化 ●キラリ久留米ロゴマーク導入支援 キラリ久留米ロゴマークを活用した包装資材版代、シール作成等に対して支援を行う。 ●スーパーや小売店での表示強化 市内のスーパーや JA と連携し、久留米産農産物のコーナーにのぼりやパネルなどを設置することで久留米産農産物を購入しやすい環境を整備する。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	農業の 魅力促進課
地産地消推進店の拡充と PR ●地産地消推進店の PR 地産地消推進店の PR チラシ(125,000 部)を作成し市広報誌に折り込むとともに、市の HP 等で広く PR した。 ・店舗登録数 222 店 R6.3 末時点 (R5 年度 3 店舗増) ●地産地消推進店の情報 地産地消推進店に対して「地産地消通信」を発行し、イベントへの参加案内等の情報提供を行った。	地産地消推進店の拡充と PR ●地産地消推進店の PR 地産地消推進店の PR チラシを作成し、市広報誌に折り込むとともに、市の HP や農業まつり等のイベントにおいて広く PR する。 ●地産地消推進店の情報 地産地消推進店に対して「地産地消通信」を発行し、イベントへの参加案内等の情報提供を行う。	農業の 魅力促進課

② 久留米産農産物の消費拡大と理解促進

学校給食への導入支援 久留米産農産物の消費拡大を図ることを目的に J A くるめ青年部が取り組んでいる学校給食導入のためのジャガイモ栽培を関係機関と連携し推進した。 ・納入実績：7.3 t (R5.6.2 (金)～R5.6.30(金))	学校給食への導入支援 久留米産農産物の消費拡大を図ることを目的に J A くるめ青年部が取り組んでいる学校給食導入のためのジャガイモ栽培を関係機関と連携し推進する。	農業の 魅力促進課
久留米産農産物学校配布事業 小学生に旬の久留米産農産物(藤山なし)を配布し、食べてもらう機会を増やすことで、地産地消を通じた久留米市の農業・農産物や農業の多面的機能の情報発信を行った。 ・配付人数：2,843 人 ・配付期間：R5.8.30(水)～R5.9.6(水)		農業の 魅力促進課

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR ●農産物マルシェの開催 ゆめタウン久留米でのマルシェを予定していたが、店舗側との調整ができなかったため未実施。 ●久留米産農産物 PR 動画放映 JA 直売所やインショップに設置した電子ポップモニターで「くるめさん、ぐるめさん」を放映し、久留米産農産物の PR を図った。 ・実績：16 店舗 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	消費者に向けた久留米の農業・農産物 PR ●農産物マルシェの開催 市内量販店で久留米産農産物マルシェを開催し、市民の久留米の農業・農産物への理解促進とともに、市内での消費拡大を図る。 ●久留米産農産物 PR 動画放映 JA 直売所やインショップに設置した電子ポップモニターで「くるめさん、ぐるめさん」を放映し、久留米産農産物の PR を図る。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	農業の魅力促進課
久留米産農産物の料理講習会 久留米産農産物を使った料理講習会を久留米市食生活改善推進員協議会と連携して開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消の意識向上を図った。 ・開催実績：20 回、338 人	久留米産農産物の料理講習会 久留米産農産物を使った料理講習会を開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消の意識向上を図る。	農業の魅力促進課

③久留米市食育推進プランの推進

食育ギャラリーの開催 久留米市食育推進会議の各専門部会並びに食育関連団体等と連携し啓発展示を、農業まつりと同時開催した。 ・開催日：R5.11.11(土)・12(日) (事業主体：久留米市食育推進会議)	食育啓発展示の開催 各種イベントや公共施設等で、パネル展示等を通じて「食」と「農」及び食育の理解促進を図る。	農業の魅力促進課
食育通信の発行 毎月 19 日に、市公式ラインを活用して、食育通信を発行し、久留米産農産物の販売情報やイベント告知など「食」と「農」の情報発信を行った。	食育通信の発行 毎月 19 日に、市公式ラインを活用して各基本施策の取組を記載した食育通信を発行し、久留米産農産物の販売情報やイベント告知など「食」と「農」の情報発信を行う。	農業の魅力促進課

④中央卸売市場における集出荷機能の強化

生産者・市場関係者との意見交換 生産者ニーズに基づく、青果物の高付加価値化への支援や、市場内関係者（卸・仲卸）で意見交換を行った。	生産者・市場関係者との意見交換 生産者（JA 等）、卸・仲卸業者などで定期的な情報交換を行うことで、集出荷機能の強化を図る。	中央卸売市場
---	--	--------

3. 農業の公益的機能等の理解促進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
体験交流事業及び学童農園への参加人数（生産流通課・農業の魅力促進課）	人	21,000	12,778	8,124	8,455	9,588		23,200
農業・農村の持つ多面的機能の認知度（農業の魅力促進課）	%	42.2	—	41.6	41.6	45.4		65

R5年度 実績報告	R6年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

① 農業・農産物の理解促進

ふるさとくるめ農業まつりの開催 生産者と消費者の交流や、農業・農村の多面的機能や地産地消の取組について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進した。 ・開催日：R5.11.11(土)・12(日)	ふるさとくるめ農業まつりの開催 生産者と消費者の交流や、農業・農村の多面的機能や地産地消の取組について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進する。第50回の実施となるため、これまでの農業まつりを振り返るとともに、次回以降の実施方法を検討する。	農業の魅力促進課
体験交流促進対策事業 ●学童農園設置事業 幼少期より農業農村に理解を深めてもらうため、小学生を対象に田植えなど農作業体験や農業者との交流を行った。 ・実績：37校（44校中）	体験交流促進対策事業 幼少期より農業農村に理解を深めてもらうため、小学生を対象に田植えなど農作業体験や農業者との交流を図る。	生産流通課
中央卸売市場による情報発信 市場の機能・役割等の理解促進のため、市民・消費者に向けたイベント等を実施した。 ・市場まつり（10月）※来場者1万人 ・夏休み子ども市場探検隊（7月） ・いちば de マルシェ（11回開催）	中央卸売市場による情報発信 市場の機能・役割等の理解促進のため、市民・消費者に向け、市場まつり（時期未定）、いちば de マルシェ（毎月第三土曜日）などを実施する。	中央卸売市場

② 多面的機能への理解促進

小学生への情報発信 農業・農村が持つ多面的な役割を説明したチラシを市内の小学6年生全員に配布し、児童及びその保護者を対象に啓発を図った。 ・配付人数：2,843人 ・配付期間：R5.8.30(水)～R5.9.6(水)	小学生への情報発信 農業・農村が持つ多面的な役割を説明したチラシを市内の小学6年生全員に配布し、児童及びその保護者を対象に啓発を図る。	農業の魅力促進課
イベントや公共施設等での情報発信 食育ギャラリーや環境交流プラザ、市立図書館等で農業の多面的機能の役割を示したパネルを展示し、理解促進を図った。 ・図書館展示：R5.11.24(金)～12.27(水) ・食育ギャラリー：R5.11.11(土)・12(日)	イベントや公共施設等での情報発信 農業まつりや環境交流プラザ、市立図書館等で農業の多面的機能の役割を示したパネルを展示し、理解促進を図る。	農業の魅力促進課

【R6年度施策の方向性】

【基本施策Ⅳ】 「農業都市・久留米」の理解促進 （農業の魅力促進課・生産流通課・中央卸売市場）

多彩な農産物や自然、歴史、景観などの地域資源と農業が持つ様々な魅力を有する「農業都市・久留米」の認知度やブランド力の向上を図るため、農産物マルシェの開催や、都市圏でのトップセールスの実施に取り組むとともに、様々な分野や関連団体等と連携してPRを行う。また、道の駅くるめや中央卸売市場などにおいて、安全安心な久留米産農産物の情報発信を効果的に行うとともに、学童農園設置事業やふるさと農業まつり、市場まつりなど生産者と消費者との交流を行い、農業・農村の持つ多面的機能の市民理解を促進する。

また、久留米市世界つつじセンターや久留米つばき園等の名所を活用し、久留米つつじや久留米つばきをはじめとする緑花木のPRを行い、久留米産緑花木の魅力向上及び消費拡大に繋げる。

さらに、市内直売所等店頭での「久留米産」表示の強化や久留米産農産物へのキラリ久留米ロゴマーク導入支援により、久留米産農産物を購入・消費できる環境を整備するとともに、教育委員会や様々な団体と連携し、学校給食への久留米産農産物の導入促進や、地場農産物を使った料理講習会の開催などに取り組み、地産地消を推進する。

【基本施策Ⅴ】 多様な農業への挑戦

農産物の付加価値向上を目指した農業者による生産と加工・販売の一体化等に向けた取組を支援するとともに、多様な販売方法等に挑戦する農業者を支援します。

また、農家所得向上を目指し、豊かな自然や農業体験などの地域資源を活用した農村地域の活性化に取り組みます。

1. 農業経営の多角化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
6 次化商品の開発・改良・販路拡大を支援した件数 (農業の魅力促進課)	件	6	2	6	10	11		40 (累計)

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

①新たな商品の改良・開発支援

6 次産業化推進事業費補助金 農業者が久留米産農産物を活用した農産加工品の開発に係る取組を支援した。 ①飲む柿酢、ぶどう酢の商品改良 ・補助実績：1 件（商品改良）、200 千円	【新規】6 次産業化等チャレンジ支援補助金 農業者及び農業団体等、教育機関、食品関連企業が久留米産農産物を活用した農産加工品の開発や加工商品の改良に係る取組について、支援を行う。 ・商品開発：補助率 1/2（上限 500 千円/件） ・商品改良：補助率 1/2（上限 500 千円/件） ・コンサルティング支援：補助率 1/2（上限 300 千円/件）	農業の魅力促進課
6 次産業化定例相談会事業 6 次産業化に関する相談の場を作り、新規の 6 次産業化に取り組む農業者の掘り起こしを行うとともに、6 次産業化補助金申請へつながる農業者の相談の場を作り、更なる推進を目指す。 ・実績:10 件（開催 R5.6～R6.3）	【新規】6 次産業化等スタートアップ事業 6 次産業化に関する相談の場として毎月 1 回の 6 次産業化定期相談会、相談者の農地・加工場へのアドバイザーの派遣、及び農商工連携の相談会を行い、新規の 6 次産業化に取り組む農業者等の掘り起こしを行い、更なる推進を目指す。 ・定例相談会、アドバイザー派遣（R6.6～）（予定）	農業の魅力促進課
【新規】6 次産業化マルシェ 6 次産業商品をテスト販売し、商品の魅力向上や消費者ニーズの把握など、より付加価値の高い商品へ改良につながるようマルシェをくるめ農業まつりにて開催した。 ・実績:3 件（開催 R5.11.11～R5.11.12）	6 次産業化マルシェ 6 次産業商品をテスト販売し、商品の魅力向上や消費者ニーズの把握など、より付加価値の高い商品へ改良につながるようマルシェを開催する。	農業の魅力促進課
ビジネス交流会の開催 新しい商品・サービスの開発や販路拡大、顧客づくりに活用し売上に繋げていくためクラウドファンディングをテーマとした講演会と、生産者と商業者との新たなビジネス展開に向けた交流会は大雨による災害対応のため開催できなかった。 （事業主体：久留米市農商工連携会議）		農業の魅力促進課

農商工連携の商品開発支援 農業者と商工業者が新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などの取り組みに対して支援を行った。 ・久留米製麺所(株)と JA くるめが市特産のサラダ菜を使ったパスタ「くるめ菜々子」の販路拡大の支援を行った。	農商工連携の商品開発支援 農業者と商工業者が新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などの取り組みに対して支援を行う。農業者側と商工者側の課題や状況を把握し、効果的なマッチングを進める。	農業の魅力促進課
---	---	----------

R 5 年度 実績報告	R 6 年度 実施計画	担当課
-------------	-------------	-----

②新たな販路拡大への支援

6 次産業化推進事業費補助金 農業者が久留米産農産物を活用した農産加工品の販路拡大に伴う取組について、補助金の交付実績はなし。 以前の補助金交付者へのイベントへの出展の案内をし、県庁でのイベントへ出展をし、6 次産業化商品の PR をした。	【新規】6 次産業化等チャレンジ支援補助金 農業者及び農業団体等、教育機関、食品関連企業が久留米産農産物を活用した農産加工品の販路拡大に係る取組や販売内容の改良に係る取組について、支援を行う。 ・補助率：1/2（上限 500 千円/件）	農業の魅力促進課
商談会等出展支援事業 新型コロナウイルスの影響で、WEB 併用の商談会等が開催され、補助対象とならない出展が増えたため、実績なし。	商談会等出展支援事業 展示会や見本市等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2（上限 100 千円/件）	農業の魅力促進課

③海外への販路拡大

農産物の輸出支援事業補助金 農業団体等が行う農産物の輸出に対する取組を支援した。 ①コニサルファー苗の韓国への販路拡大 ・補助実績：1 件、400 千円	農産物の輸出支援事業補助金 農業団体等が行う農産物の輸出に対する取組を支援する。 ・団体：補助率 1/2（上限 400 千円/件） ・個人：補助率 1/2（上限 200 千円/件）	農業の魅力促進課
久留米市農産物の輸出支援事業補助金の周知チラシ 久留米市農産物の輸出支援事業補助金の周知チラシを作成し、市内 5JA などに配布を行った。		農業の魅力促進課
久留米産農産物の販路開拓支援及び PR 協議会構成員である 5 JA を対象に「フードエキスポ九州 2023」への出展を支援予定であったが、出展希望がなかったため実績なし。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	久留米産農産物の販路開拓支援及び PR 海外バイヤー等が参加する商談会に出展し、バイヤーとの商談を通じて久留米産農産物の海外への販路拡大を支援する。 (事業主体： 久留米市農産物販売力強化推進協議会)	農業の魅力促進課

2. 農村地域の資源を活用した地域の活性化

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
くる農・泊まらん農の参加者数 (農業の魅力促進課)	人	400	303	45	192	235		630

① 農業の理解促進と地域活性化

農業体験等事業（くる農・泊まらん農） 令和5年度から、くる農については、業務委託により、実施農家の負担軽減を行うことで、実施しやすい体制の推進に努めた。泊まらん農については、久留米耳納グリーンツーリズム協議会に対して、自立に向けた補助金等の交付や、助言等を行うことで、推進を図った。 【実績】 （くる農）61人 （泊まらん農）174人	農業体験等事業（くる農・泊まらん農） 農業体験や農家民泊等に取り組む農家や団体等を支援することで、農業・農村の理解促進を図るとともに、農家所得の向上を図る。	農業の魅力促進課
--	--	----------

② 「道の駅くるめ」の周辺施設と連携した地域活性化

「道の駅くるめ」の機能強化 くるめ緑花センター協同組合が開催するグリーンマルシェや、県立久留米筑水高校オリジナル駅弁大会などを指定管理者が主催団体と連携して実施した。また、大型屋根の下で、出荷待機者に出店を促し、販売機会の創出を図るなど、地域活性化を図った。	「道の駅くるめ」の機能強化 大型屋根を整備したイベント広場をより効果的に活用することにより、「道の駅くるめ」における農産物販売を充実していくとともに地域との連携を深め、地域情報の受発信機能を強化していくことで地域活性化を図る。	農業の魅力促進課
道の駅くるめ出荷物等調製施設の整備 道の駅くるめに新たなバックヤード、ストックヤード等の機能を持った、出荷物等調製施設を整備することで、職員の働きやすさが向上し、地域活性化に寄与することができた。	道の駅くるめ交流研修室の内部外部改修工事の実施 交流研修室の一部を改修し、現在の事務所機能を移転する。開駅当初から規模拡大した職員体制に対応することで、働きやすさが向上し、地域活性化に寄与する。今後、出荷物等調製施設を有効活用し、魅力的な農産物の集荷体制の構築に努める。	農業の魅力促進課

【R 6 年度施策の方向性】

【基本施策Ⅴ】 多様な農業への挑戦 （農業の魅力促進課）

6次産業化や農商工連携等の農業経営の多角化に取り組む農林漁業者の掘り起こしを行い、福岡県6次産業化プランナーなどの専門家による相談会や事業化に向けた補助制度の拡充を行うことで支援する。また、商品の魅力向上や消費者ニーズの把握などを行うために6次産業化マルシェを開催し、今後の商品改良に寄与する。

海外への販路拡大は、海外バイヤーが参加する展示商談会に出展し、バイヤーとの商談を通じて久留米産農産物の国内外への販路拡大を目指すとともに、輸出に取り組む農業者の掘り起こしを図る。

農村地域の資源を活用した地域の活性化については、大型屋根を設置した道の駅くるめのイベント広場を活用し、地域や団体と連携したイベントや情報発信を行うことで多くの誘客と地域への周遊を図っていく。また、新設された出荷物等調製施設により、職員の働きやすさが向上することで、地域活性化に寄与していく。

さらに、農業体験等事業（くる農・泊まらん農）に取り組む農家や地域の魅力を情報発信し、都市と農村の交流を通じた農業・農村の理解促進を図るとともに、地域活性化に繋げ、「農業都市 久留米」の認知度向上を図る。